

令和4年鋸南町教育委員会第2回定例会議事録

1. 日 時 令和4年2月17日（木）午後2時00分～午後2時50分
2. 場 所 鋸南町立中央公民館 2階会議室
3. 出席委員 教育長 富永 安男 教育長職務代理者 山野 正人
委 員 中山 郁夫 委 員 篠原 恭恵
4. 出席職員 教育課長 福原 規生 主任指導主事 工藤 司
教育総務室長 笹生 いつ子 生涯学習室長 笹生 浩樹
5. 開 会 富永教育長が開会を宣言
6. 議事録署名人の指名 富永教育長が中山委員を指名
7. 議事録の承認 令和4年1月27日開催の第1回定例会議事録について承認
8. 会議の傍聴 傍聴者なし

9. 教育長の報告

教育長の報告ですが、本日は2点お話をさせていただきます。

最初に、人事の関係です。本年度の人事は大詰めとなってきております。残念なことですが、我が町の小中学校は来年度3学級減ってしまうということになりそうです。そういったしますと、職員も3人が異動で、1人入ってくるというような大変厳しい状況です。加えて、令和4年度は、小学校1. 2. 3年生は20人代の単学級です。従いまして、3～4年後は小学校120名。中学校がその2分の1だとすれば、60人という事になります。あまりにもスピードが速いので、私も想定外と言いますか、驚いております。また、単学級の動きというのは我が町だけでなく、安房地域に小学校24校、中学校13校ございますが、それぞれの小中学校で単学級になっていくというデータが出ております。従って、年々、教員人事も厳しくなると思っております。詳しいお話は、正式決定後お話をさせていただきますが、私もこれで7回目の人事の時期を迎えましたが、今年が最も厳しいと思っております。

2点目ですが、このところ県の高等学校の再編計画と言いますか、次期高等学校改革推進プランというものを盛んに行っております。

皆さんのお手元に資料をお配りしましたが、千葉県内の公立県立高等学校は9区域に分かれております。9つの区域で県立学校は、合計で121校ございます。安房地区だけでなく、生徒がどんどん減っておりまして、他地区においても公立学校入試の状況を見ますと、ほとんどの高校が1倍を下回っている。つまり競争率のない学校が増えている訳であります。特に安房地区においては、安房高だけが定員を上回ってお

りますが、他の公立3校は定員不足です。そこで、県では適正規模・適正配置のプランを立てておりました、既に実施しております。都市部においては、1校あたり1学年6学級から8学級。郡部においては、4から8学級です。ですから、館総も拓心も長狭も4クラス、安房高は6クラス、かつては9クラスでした。安房地区の高等学校は、それですら維持できない状況になっております。

適正規模に満たない高等学校は、統合の対象だと県は言っています。ですが、安房地区の教育長の会議の中では、それぞれの地域に事情がある訳で、結果、統合になってしまうにしても、その結論に至るまでは、その地域の状況を十分配慮し、検討議論をしてもらいたいということです。私が今要望しているのは、各関係機関を集めた、地域協議会を設置していただきたいという事を県に意見を述べております。

いずれにしても高等学校の置かれている状況は、非常に厳しいものがあります。皆さんも昨日の新聞記事などで、高等学校の入試状況をご覧になったと思いますが、恐らく安房地区の公立4校は定員割れだと思います。義務教育の小中学校も様々な課題がありますが、高等学校につきましても課題があるという情報提供をいたしまして、本日の教育長の報告とさせていただきます。

10. 報告事項

(1) 行事の後援の承認について

- ・ 笹生教育総務室長から、行事の後援承認は前回の定例会以降に1件あった旨別紙説明資料により報告・説明がなされた。

(2) 各担当からの報告について

- ① 工藤主任指導主事から、各学校の様子について、学校行事についての報告・説明がなされた。

- ② 笹生生涯学習室長から、生涯学習室関係の・鋸山日本遺産候補地域活用推進協議会事業について報告・説明がなされた。

(質疑等)

- ・ 篠原委員から「鋸山日本遺産候補地域活用推進協議会事業の域内小中学校での普及啓発活動教室について、どのような内容を考えているか。」との質疑に対し、笹生生涯学習室長から「まだ、計画中だが、石の教室、日本寺の歴史等を考えている。」との答弁がなされた。
- ・ 山野委員から「富津市側の域内小中学校とは、どの範囲か。」との質疑に対し、福原課長から「天羽小学校と天羽中学校で、金谷・竹岡・天神山・湊の学校が合併して規模は鋸南町と同じ位。」との答弁がなされた。
- ・ 中山委員から「鋸山の日本遺産候補地域認定への町の盛り上がりはどうか。」との質疑に対し、福原課長から「協議会の中でも地元の盛り上がりは大切だと言われており、普及啓発活動教室を行い、地域と共に機運を盛り上げていきたい。」との答弁がなされた。

③ 笹生教育総務室長から、教育総務室関係の補正予算・令和4年度当初予算について報告・説明がなされた。

④ 福原教育課長から、小学校への寄付について、勝山駅裏の通学路街灯の修繕について、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止等重点措置間延長に伴う社会教育施設等の利用について、報告・説明がなされた。

・ 篠原委員から「寄付の広報はどのように行うか。」との質疑に対し、福原課長から「寄付者に同意を得た後、広報等に掲載する。」との答弁がなされた。

11. その他

① 笹生教育総務室長から、今後の行事日程について、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

② 富永教育長から、5月定例会日程について協議があり、19日木曜日中央公民館で開催することに決定した。

12. 閉会 富永教育長が閉会を宣言

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和4年3月17日

鋸南町教育委員会

教育長 富永 安 男

教育委員 中 山 郁 夫

議事録作成

事務局 笹 生 いつ子